

児童発達支援・放課後等デイサービス プログラム 概要



・プログラムの5つの柱



- ①健康や生活面への支援
- ②運動や感覚面への支援
- ③認知や行動面への支援
- ④言語やコミュニケーションへの支援
- ⑤人間関係や社会性への支援

①健康面や生活面への支援

- ①健康状態の把握
- ②健康の増進
- ③リハビリテーションの実施
- ④基本的な生活スキルの獲得
- ⑤構造化等により生活環境を変える



例) SST (ソーシャルスキルトレーニング) を用いた支援

片付けなどの整理整頓や、あいさつ・日常生活(身辺自立)など基本的な生活スキルを身に付けられるように支援します。

②運動や感覚面への支援

- ①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- ②姿勢保持と運動。動作の補助的手段の活用
- ③身体の移動能力の向上
- ④保有する感覚の向上
- ⑤感覚の補助及び代行手段の活用
- ⑥感覚の特性

例) リトミック

音楽に合わせて手をたたいたり踊ったり、体操をすることで自然な動きや表現ができるようになります。



③認知や行動面への支援

- ①視覚・聴覚・触覚等の感覚や認知の活用
- ②知覚から行動への認知過程の発達
- ③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
- ④数量、大小、色等の習得
- ⑤認知の偏りへの対応
- ⑥行動障害への予防及び対応

例)

フラッシュカードや絵カードを用いた支援をいたします。



④言語やコミュニケーションへの支援

- ①言語の形成と活用
- ②受容言語と表出言語の支援
- ③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ④指差し、身振り、サイン等の活用
- ⑤コミュニケーション危機の活用
- ⑥読み書き能力向上のための支援
例)

ひらがなパズルや知育プリントを使い、ペースに合わせて支援していきます。



⑤人間関係や社会性への支援

- ①アタッチメント(愛着行動)の形成
- ②模倣行動の支援
- ③感覚行動遊びから象徴遊びへの支援
- ④一人遊びから協同遊びへの支援
- ⑤自己の理解とコントロールのための支援
- ⑥集団への参加への支援

例)

施設全体でのレクリエーションや地域への季節活動を実施します。

